

## 年頭のご挨拶、手堅く進めてまいります



昨年は大変にお世話になりまして誠にありがとうございました。おかげを持ちまして大過なく年を越し、新年を迎えさせていただきました。

ドッグイヤーから猪突猛進への交代ということで、去年は本当に多くの事象があり変化に目をうばわれ慌ただしい1年でした。今年は皇位継承と消費税率改定、各種選挙が予定されており、これだけでもオオゴトであるのに更に東京オリンピックが加わり、加えて自然災害や諸々の事件事故となると昨年以上の忙しさとなり、まさに猪のイメージそっくりの変化の突っ走り状況となるようです。

この様な状況下での弊社にとっての変化は民法をはじめとする諸法律・規則等の改正に伴う業務処理が大幅に変更となることです。契約書・重要事項説明書・各種帳票の変更はもとより営業や管理業務の内容、手法の変更も迫られ社員の研修・研鑽が求められます。オーナー様にもご理解をいただきたく説明会・セミナーへの出席をお願い申し上げます。

不動産の流通面（売買・貸借）におきましても近年の大手業者の拡張に負けることなく一層の地元密着に努め、地域活性のお役に立ってまいります。総じて変化の大波小波を乗り越え、あるいはかいくぐり、これまでと同様に手堅く業務をすすめ、都ハウジングの45年目を切り拓いてまいります。

オーナーの皆様、地域の皆様、取引先をはじめステークホルダーの皆様、今年も尚一層ご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様方からのご信頼とご期待に応え、頑張っております。  
(社主 岡本秀巳)

## 損害保険の補償範囲をご確認下さい

2019年1月3日午後、新年早々熊本で最大震度6弱の地震が発生しました。2016年の熊本地震とは違う震源とのことですが、前回前震があり、本震でさらに被害が大きくなったことを考えると既知の活断層がないエリアでも注意を払うことが肝要です。

2017年の地震保険世帯加入率は京都では30%ほどでした。この1月から、また地震保険の改定があり全国的に料率が上がった中で、京都は木造構造で▲11.8%、耐火構造で▲3.7%の保険料ダウンとなりましたので、新規に契約を考えるにはいい機会かと思われまます。また契約期間は最長5年契約が可能ですが、長期契約の割引率が下がり、つまり保険料としては少し上がった結果となりました。

昨年の「暴風・大雨」被害により補修が必要な建物で、職人さんの人手が足りなかったり、材料の調達ができず、工事が遅れているケースもありますが、すでに被害写真と見積りをつけて保険金があり、補修に役立てていただいたお客様が今までになく多くいらっしゃいます。しかし残念なことに、かなり以前にご契約された契約では補償の範囲が、被害額20万円以上でないと保険金が出なかったり、補償範囲が狭くて保険金が出なかったり、自然災害だったため他人の財物によって受けた被害であっても、他人には損害賠償請求ができなかったケースもありました。そのような場合に備え、火災保険に加入することと、火災だけでなく風災や水災による損害も補償できるように見直しをお勧めします。



保険の補償内容も時代に合わせ変わってきております。補償内容は選択できますので、新年を迎え今一度お支払い対象となる事故や受け取れる保険金を保険証券や募集資料などでご確認下さい。  
(保険担当 岡本 三保子)

## ドライブレコーダー



私は車好きの趣味が昂じ、最近はカー用品にかなり凝っております。昨今、メディアで高速道路等での煽り運転のニュースが度々報じられておりますが、私も万が一の事を考え、今年のお正月休み中に近所のカー用品店にて愛車のリアガラスに後方向きのドライブレコーダーを取付けしました。試しに撮影した映像をパソコンで再生してみたところ、夜間でも他車両のナンバープレートの文字等がはっきり映っていました。2年ほど前にフロントガラスに取付けした前方向きのドライブレコーダー(旧モデルのもの)に比べて、画質等が格段に向上しており、改めて技術の進歩を痛感致しました。

また、カー用品店の店員の方のお話しでは、ここ数年ドライブレコーダーの販売価格が下がり販売(普及)台数も急激に増えているとの事です。ひと昔前までは、こんなことが話題や問題



になることもなかったのに…と、悲しい気持ちにもなりますが、スマホやこういったドライブレコーダーの進歩のおかげで表には出てきていなかった事が取り沙汰され、またトラブル回避が出来るようになってきたのかなあとも思います。私自身も「常に自分の運転が他から見られている(撮影されている)」という自覚をもって、日々の安全運転に努めていきたいと思っています。

(不動産営業部門 竹本 宗耕)

## 東京丸の内～アマノ食堂～

JR 東京駅の丸の内南口前にある「KITTE (キッテ)」。此方の地下1Fにアンテナショップを設けているのが、「作りたてをそのままフリーズドライ」のキャッチコピーを掲げるアマノフーズのアマノ食堂さん。年末にお邪魔してきました。



フリーズドライは、凍結させた食品を真空状態に置き、水分を昇華させ乾燥させる技術。元は救急医療の分野で輸血用の血液を遠隔地の病院に運ぶ為に開発されましたが、今やインスタントコーヒーにカップ麺と日本人の食文化と切っても切れない関係性を生み出しています。コンビニやスーパーでも味噌汁や雑炊などよく見かけますが、何とアマノフーズさんはとんかつカレーまで作っちゃったんです！

お湯をかけて 60 秒で出来上がる本格カレー。インスタントと侮ることなかれ。その美味しさはスプーンで一掬いして口に運び、舌に載せた瞬間に「う、うまぁー！」と声が出ること間違いなし。

三が日も明けていない3日。熊本を震源とする震度6弱の地震が発生しました。私も昨年6月の大阪北部地震では大変な恐怖を味わいました。ふと、ああそうだ。軽くて嵩張らず、持ち運びも便利なフリーズドライを備蓄品として置いておこう。もしもの時にこれが食べられるだけで元気が出る。そう考えたお正月。フリーズドライは沢山の会社から出されていますが、一風変わった商品多数、けれど美味間違いなしのアマノフーズさんを是非一度お試しあれ。

(管理事務 大森 里美)

